

令和元年8月30日

智頭町議会議長 大河原 昭 洋 様

民生常任委員長 河 村 仁 志

委員派遣報告書

本委員会の調査事件について、下記のとおり委員を派遣したので、智頭町議会会議規則第77条の規定により報告します。

記

1. 期 日

令和元年8月21日（水）

2. 場 所

智頭町大字智頭624番地1 旧諏訪保育園内「子ども食堂 まんぷく食堂・えん」

3. 目 的

今年度の行政評価対象事業として抽出した「智頭町生活困窮者等子どもの居場所づくり支援事業」において、委託事業として運営されている子ども食堂を視察し、活動内容の把握、運営上の課題や問題点等を聞き取ることにより、政策提言に結びつける根拠とする。

4. 派遣議員

全委員5名

國本誠一議員、大藤克紀議員、谷口雅人議員、中野ゆかり議員、河村仁志議員

5. 所 感 等

町内に居住する幼児から高校生とその保護者を対象として、毎週水曜日の午後5時から開かれているが、毎回4～50人、多い日には70人もの利用者があるとのことで、利用している母親からの「週1回でも家事から解放される安堵感がある」、「子どもが多くいるので、助かる。楽しんで食事ができる。」といった意見や、兄弟姉妹以外の子ども達と会話しながら楽しそうに食事をする子ども達の姿から、子どもの貧困には直接関係ない家庭であっても、親子でリラックスできる場として利用されている様子を感じた。

また、食事の量も十分でメニューも多様であり、子ども達に楽しんで食べてもらえるような工夫がしてあったり、食材の提供者を黒板に書いて紹介し、利用者

と提供者が直接顔を合わせる機会がなくても、協力してくださる方への感謝の気持ちが芽生える、人と人の縁がつながるような工夫がしてあったりと、スタッフの配慮を感じた。

協力スタッフの確保、調理器具の老朽化や不足、冬場の野菜不足や食材の重複、認知度の低さによる利用者の固定化等、課題は山積しているとのことであり、政策提言に繋げていくことはもちろん、今後の持続可能な運営について、所管課と協議をしていきたい。